

田彦

Community TABIKO

第66号

H28.3.25 発行

■編集・発行
 田彦中学区地域づくりの会・広報委員会
 TEL.274-5222 FAX.276-1609
 〒312-0063 ひたちなか市田彦950-128
 田彦コミュニティセンター内

平成27年度
地域ふれあい芸能発表鑑賞会
主催 田彦中学区地域づくりの会 実践部会




水戸大神楽と 地域芸能鑑賞会



時折寒さも緩み始めた2月6日、実践部会主催で『水戸大神楽』をゲストに鑑賞会を開催しました。今回田彦中学区では初の試みとして、地域で芸能活動をしている方々の披露する会も兼ね、二部構成で行いました。

まず第一部は地域住民による芸能発表。花笠踊りで賑やかにスタート、民舞・舞踊ではベテランの華やかさに魅了され、太鼓と唄に聴き惚れ、オカリナの演奏では素朴な音色にホッコリしました。またピアノとオカリナのリードで観客の皆さんと合唱、全員参加で和んだところで第一部が終了となりました。

第二部、宗家、柳貴家正楽一座による水戸大神楽。まず獅子舞で神仏に捧げ、傘を回している上に様々なものをのせる曲芸や、茶碗とバチを高く繋げていく曲芸等々、観客はドキドキしながら楽しみました。









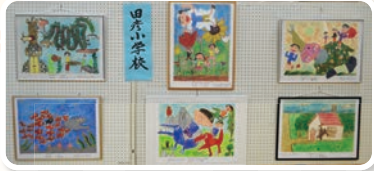
第十回を迎えた

地域文化展

日頃、研鑽を積んでいらしやる地域の皆様方の作品を一同に会し、鑑賞していただく「地域文化展」は去る2月20・21の二日間、田彦コミュニティセンター内集会室・ロビーを会場に、
 絵画・生け花・手芸・写真・絵手紙・陶芸・子ども達の作品・そして小・中学生の作品など、地域の芸術家達の作品が豪華に勢ぞろいしました。

他の地域から来られた方から、作品のレベルの高さに驚いたとの感想をいただき、又じっと作品に見入っておられたのが、印象的でした。

出品者の方々には、会場づくりから片付けまでご協力いただき、立派な手作りの文化展が出来ましたことを心より感謝申し上げます。



平成 28 年度 ひたちなか市生涯学習講座 田彦コミュニティセンター開催分のお知らせ

【前期】3月25日から4月15日募集

No	講座名	回数	開催時期	曜日・時間	対象者	定員
861	初めてのコーラス	8	6月～11月	第2・4木曜日 9:30～11:30	成人	30人
862	知って納得暮らしの講座 -暮らしに係る課題を学習-	5	6月～11月	第1木曜日 9:30～11:30	成人	20人
863	親子でスキップ教室 -コミュニケーションと子育て-	5	6月～11月	第1水曜日 10:00～11:30	2歳～未就園児と保護者	15組 30人

【後期】8月下旬募集

No	講座名	回数	開催時期	曜日・時間	対象者	定員
864	生活習慣病の予防食 -旬の食材を活かした家庭料理-	4	10月～1月	第4火曜日 9:30～12:00	成人	20人
865	ハーブとアロマで潤い生活 -ハーブとアロマの活用術-	6	10月～12月	第1・4月曜日 10:00～12:00	成人	20人

【学校を通して募集】

No	講座名	回数	開催時期	曜日・時間	対象者	定員
866	わくわく児童教室 -色々な分野の体験学習-	5	6月～11月	第2土曜日 9:30～11:30	田彦小1～3年生	30人
867	おもしろ児童教室 -色々な分野の体験学習-	5	6月～11月	第4土曜日 9:30～11:30	田彦小4～6年生	30人

* 児童教室は、明成田彦幼稚園・田彦小学校を通して募集します。

- ▶ 申込期限 … 4月15日(金) 必着
- ▶ 申込方法 … 往復はがき(市報参照)

お問い合わせ

生涯学習センター(旧中央公民館)
 ☎029-272-6301

皆様のご参加をお待ちしています!





72時間の生存力をつける！

人は72時間以内に救出されない
と、生存率が急減すると言われて
います。2月10日「そなエリア東
京・防災体験学習施設」で研修会
を行い、多くの体験と知識を学び、
参加者から好評を戴きました。



盛沢山の内容の知識を学び、映像ホールではM8・0直下地震を体験。
非常食は一か所ではなく分散保管、水が不要な餅や栄養素に富んだ果物の缶詰が推奨等の知識も学びました。

〔安全福祉部会〕

**常陸國風土記の
書かれたころ！**

12月12日(土) 34名参加のもと
移動歴史教室(水戸→石岡→つくば)を開催した。
大串貝塚(水戸市塩崎町)は、
那珂川と涸沼川に挟まれた台地
で、縄文時代前期の世界最古の遺
跡(貝塚)である。この貝塚と巨
人「ダイダラボウ」とを結びつけ
た伝説がある。



風土記の丘(石岡市)鹿の子遺跡は奈良時代後期から平安時代の軍需工場で多くの工房跡が見つかり、復元家屋も多く、古代の茨城を伝える施設である。
平沢官衙遺跡(つくば市)は、千年以上前の奈良・平安時代の筑波郡の役所跡である。
一般の遺跡では見られない高床式倉庫で、税である稲や麻布などを収めた郡役所の正倉跡とのこと。
講師斉藤新先生の解説による学びの楽しい教室であった。

〔文化部会〕

**原子力災害に
備えた環境講座**

1月30日茨城県の出前講座の1環として、「広域避難計画について」の講座を開催し85名の参加をいただきました。



前日夜半から雪が降り続き、足元の悪い中、ゴム長靴で歩いて出席された方もおられ、皆様の関心の高さに驚きました。
県対策課から、黒沢・中本両氏を迎え講義を受けました。
参加者全員に計画書を配布。災害に備えた計画の基本事項の説明がありました。
対象市町村・避難先・避難経路・防護措置等の説明があり、その後質疑に移りました。終了時間迄多くの質問があり、一つ一つ丁寧な回答がありました。
只「提示された計画書通り事は進まない」との指摘に対し、対応について「緊急時のマニュアルづくりと受け入れ先等」今後協議していく旨の説明がありました。

〔環境部会〕

『ふれあいスキー』報告

いやあ！今年も雪不足に悩みました。

毎年、1月の第二土曜日に猪苗代スキー場で実施してきましたが、暮れから正月、ライブ映像でも積雪ゼロ・・・今年も中止か・・・でも何とか連れて行きたい！と打開策を模索した結果、出発五日前に急遽『グランデコス キー場』へ変更。



これは幸いにも申しもお願いしていた福島会津地方振興策『スキーバス補助金』の許可がおり、予定外の団体を受け入れてくれたスキー場の対応等、関係者のご協力のおかげです。当日はコンディションもまあまあ、リフト等は混み合いましたが怪我無く、皆一日楽しく滑ることが出来ました。
関係者・福島の皆様には本当に感謝申し上げます。

〔青少年部会〕

楽しくスポーツを

11月29日、恒例のファミリーバドミントン大会が、田彦小体育館において、52名の参加で開催されました。

ファミリーバドミントンは、一般のバドミントンと違い、短いラケット、スポンジのシャトルを使い、3対3でゲームします。又、2打以内で返す為、親子三代でも楽しめるスポーツです。



今回も、大人チームと家族チームに分けてゲームをしました。各チームともラリーが続く大熱戦でした。
日頃、運動不足のお父さんお母さん、スポーツが苦手な子供達でも、楽しく汗を流す事が出来るので、健康増進や、身体を動かす事が好きになってもらえる為にも、皆様の参加をお待ちしています。
レッツ、スポーツ!!

〔体育部会〕



自分の頭で考える

西大島 小林 清徳



巷間耳にして 久しいが、世の中には様々な報道や情報が氾濫し交錯している。

テレビ報道等を耳にし、不安を感じられている方も多いであろう。私もかつてはその一人であった。しかし、幾つかの報道は、意図的に流されていたことは、歴史が証明している。

では、どの様にしたらその不安を取り除くことができるであろうか？私は「自分の頭で考える」ことを実践している。テレビや新聞報道を鵜呑みにせず、因果関係に疑問を感じたら、他情報を含めて取捨選択し体系立てて行くのである。その訓練により、真贋情報の見極めが可能となる。

一人でも多くの人々が自分の頭で考えることができれば、偽情報に惑わされることなく、ひいては70年以上前の惨劇の再発防止ができると、常日頃考えている。

自治会活動を通して

常端 大森 昌幸



堂端自治会の 班長として、2年間、自治会活動に携わってきました。各種行事

に参加し、多くの皆さんと接することができて、大変有意義な時間を過ごすことができ、感謝いたします。

自治会では、環境衛生委員を担当し、地域清掃活動・花と緑の普及運動で、多くの皆さんに参加協力をいただき、きれいな住み良い地域づくりができたと思います。

地域活動の活性化には、いかに多く参加者を集めるかですが、行事計画や参加者募集では、苦労しましたが、高齢化で減少の一方で、今後の活動が盛況に進むことを祈念しています。

もうすぐ任期を終えますが、これからも地域の一員として、自治会活動に参加していきたいと思えます。

地域自治会活動に参加して

大島公園西 島山 進



田彦住宅班の 班長を昨年 から担当しています。当班は、昭和63

年に宅地造成・分譲され、翌平成元年から自治会

運営が始まりました。最初は、分譲会社のサポートで45世帯の自治

会組織が編成され、その後の転出・転入などで現在では38世帯の班へと変遷してきました。発足当時、

畑や沼地だったところは、田彦中学校が新設され、団地内では多くの子供たちの声が響き渡り、遊び回っている姿がありました。28年の時を経て、その子供達も巣立ち、それぞれ新たな地で「城」を築いている世帯が多いようです。従って、現在当班も高齢化が進み、自治会活動でも大きな行事である地区運動会の子供会参加型の競技にはエントリーができないという寂しい状況にあります。これは、現代の世相からすると、どこにでも

共通する状況で今後の自治会活動の運営も見直すことが必要かと感じました。

自治会の研修に参加して

田彦東 笹崎 光男



今まで、私は自治会に会費を納めるだけの、無関心な会員でしたが、今回、

自治会の研修に、初めて参加し行ってきました。

そして、第一に幹事さんが大変苦労していると感じました。会員の皆様がもう少し、自治会活動に興味を持って、参加出来たら

と思います。

さて研修の行程は花王鹿島工場見学後、ホテルでの昼食会、鹿島神宮参拝です。

神宮ではガイドさんの説明を聞きながら、個人で行くのと違った、新鮮な気持ちになり、境内を散策し帰路に着きました。又チャンスがありましたら参加したいと思います。

班長になって

田彦西 藤咲 勝一



退職後、趣味に明け暮れる日々、地域の方々の交流も少なく過ごしていました。

した。そのような時、自治会の班長の誘いが有り、即答出来ずでしたが、地域の為に何か出来ることがあればと思い引き受ける事になりました。自治会では、様々な行事活動が有り、係わる事によって大切に気付けられています。多くの人と出会い、いろいろな経験が出来た4年間でした。特に印象に残っているのは2年前、文休・福祉系を担当した時、区民会館にて、ひとり暮らし食事会行事で、バンド演奏、ビンゴゲーム、お菓子の掴み取りなど行なって、和気藹々の時間を過ごした事。高齢化が進む中、地域のつながりが大切であることを実感しました。

自由投稿通信

地元消防団の皆様に感謝



カラン・コロン・カラン・カラン、その鐘の音は決まって私が、湯船につかっている時に聞こえて来る。

「こちらは地元消防団です。火の元にご注意ください。」という声と共に「カラン・カラン」という音が冷たい外気を破って湯気でももった私の耳もとを通り過ぎて行く。その音を聞くと、あー今日も守られている。という安心感で一日を終えることが出来ます。

人生の後半になってやつと多くの方に守られて生きている事に気付かされました。

消防団の皆様の中でのご苦労に感謝しながら、就寝前の火の確認、スイッチの確認を続けております。本当に有難うございます。感謝申し上げます。団員の皆様もどうぞお体に十分気をつけてお過ごし下さい。

編集後記

寒暖の差が日々著しく、体調管理も大変ですね。

広報紙も66回、22年を迎えました。この間白黒から二色刷りそしてカラー印刷と紙面も、より充実しているように感じます。

これからも皆様方に、親しんで頂ける紙面を目指して学んで行きたいと思えます。

ご意見、ご要望等是非お寄せください。